

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

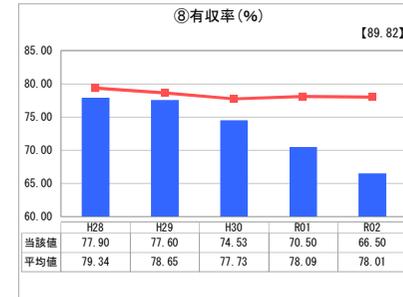
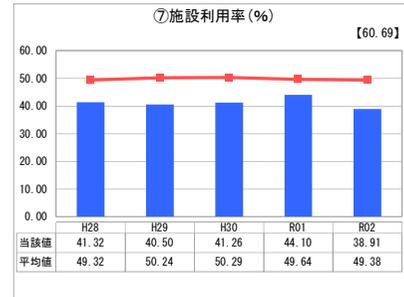
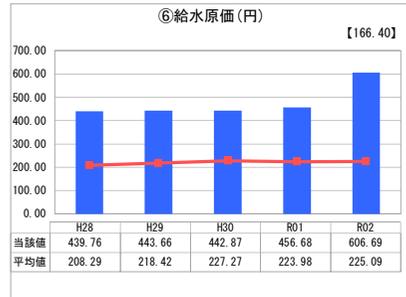
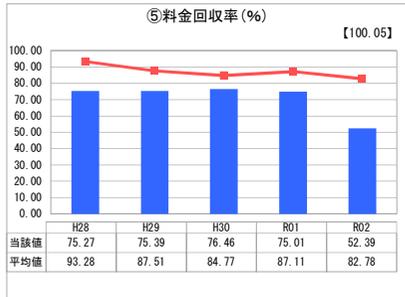
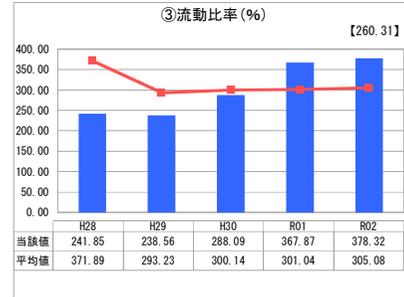
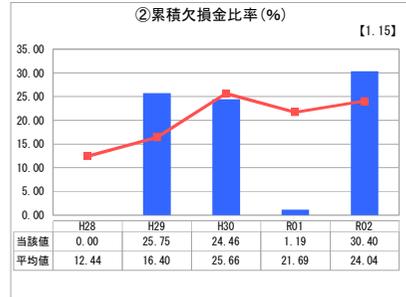
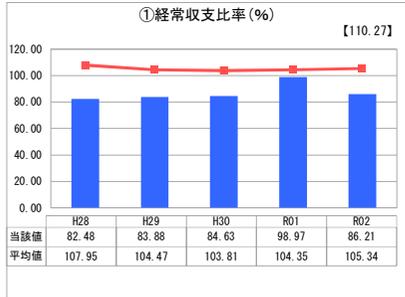
北海道 夕張市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	63.72	99.48	6,966	

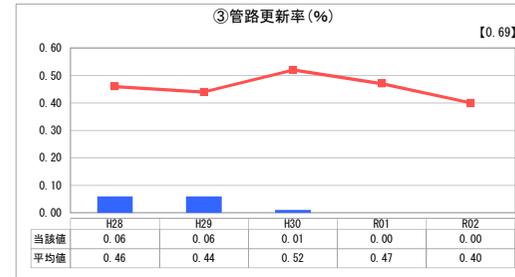
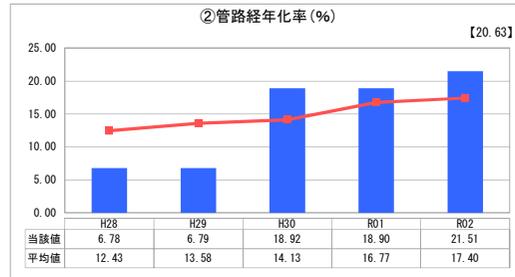
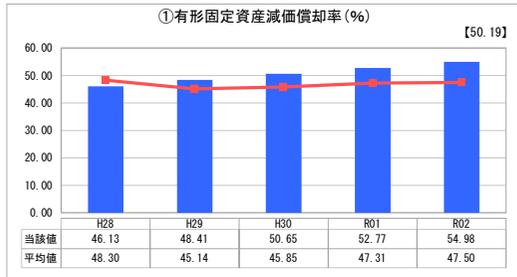
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,430	763.07	9.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,264	44.20	164.34

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①平成28年度に更新した浄水場等の減価償却が始まったため100%を下回っている。今後、更なる経営効率改善に努める。  
 ②決算統計報告時には当年度未処理欠損金が発生しているが、R2年度損失分は未処分利益剰余金で補填している。そのため欠損金は発生していない。  
 ③毎年度100%を上回っているため、経費節減等で更なる流動比率の上昇に努める。  
 ④平成28年度の浄水場更新に伴う借入により増加。今後、計画的に返済することで改善が見込まれる。  
 ⑤給水に係る費用が増加したことにより100%を下回っているため、経費節減等の検討が必要である。  
 ⑥有収水量1m<sup>3</sup>あたりの給水原価は類似団体平均値に比べて高い状況にあるため、経費節減等の検討が必要である。  
 ⑦類似団体平均値を下回っているため、配水能力の縮小等、効率化に努める必要がある。  
 ⑧類似団体平均値を下回っているため、漏水調査の実施や管路の更新で漏水を減らす等、更なる有収率の上昇に努める必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

①平成28年度は浄水場等更新に伴い数値が改善したが、平成29年度以降は類似団体平均値を上回っており、法定耐用年数を迎える管路等を多く保有している状況である。  
 ②平成30年度以降は類似団体平均値を上回っており、管路の計画的な更新が必要である。  
 ③類似団体平均値を下回っている。今後、管路の経年化率が増加することを踏まえ、計画的な更新が必要である。

## 全体総括

現在は平成22年度に策定した「夕張市上下水道第8期拡張事業計画」に基づき経営しているが、人口減少に伴う給水収益の減少及び管路の老朽化に伴う更新事業が増加すること踏まえると、新たに更新に係る費用と経営状況を把握し、更なる経費節減及び有収率の向上に取り組み、健全な経営を維持しつつ計画的かつ効率的な施設の更新を行う必要がある。